

お知らせ

INFORMATION

No.2024-25
2024年9月
病体生理研究所

新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記項目を新規受託いたしますのでご案内申し上げます。

何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【新規受託項目】

◆ サイトケラチン 18 フラグメント (CK-18F) [30769]

…検査実施施設 S

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2024年10月3日（木）受付分より

【新規項目情報】

項目名称	サイトケラチン 18 フラグメント(CK-18F)
コード	30769
検体材料	血清 0.3mL
保存安定性	凍結
検査方法	EIA 法
判定基準(単位)	260 未満(カットオフ値) (U/L)
報告範囲(単位)	125 未満、125~99900000 (U/L)
所要日数	4~11 日
実施料(区分) 判断料	検査実施料 194 点 (D007 50) ※1 ※2 判断料 144 点 (生化学的検査(I))
備考	非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) の診断補助のためのカットオフ値は 260U/L です。

- ※1 サイトケラチン 18 フラグメント (CK-18F) は、1 ステップのサンドイッチ法を用いた酵素免疫測定法により、非アルコール性脂肪肝疾患の患者 (疑われる患者を含む。) に対して、非アルコール性脂肪性肝炎の診断補助を目的に実施した場合は、「オートタキシン」を準用して算定する。
- ※2 「プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド (P-Ⅲ-P)」、「Ⅳ型コラーゲン」、「Ⅳ型コラーゲン・7S」、「ヒアルロン酸」、「Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体」又は「オートタキシン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

■ 予後不良な NASH の鑑別診断に必要な 肝生検を実施すべき患者の選別に有用な検査です ■

非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) は、アルコールやウイルス、薬物などを原因としない脂肪性の肝障害の総称で、病態がほとんど進行しない非アルコール性脂肪肝 (NAFL) と進行性の非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) があります。

肝細胞が傷害を受け、アポトーシスが誘導されると CK-18 が酵素により断片化され、サイトケラチン 18 フラグメント (CK-18F) が生じます。健常者や NAFL と比較して NASH で有意に高値となることや NASH の特徴である風船様変性や炎症を反映していることが報告されています。

参考文献

Tada T, et al : Eur J Gastroenterol Hepatol 33 (11) : 1451~1458, 2021 (臨床的意義参考文献)

以上